

IV 事業概要

2 学校教育事業

(8) モジュール学習

「モジュール学習」とは、2011年度から実施された新学習指導要領に明記された博物館等の利用の実践のために、本館の展示物や実験器具を活用する観察・実験学習プログラムである。仙台市科学館では、仙台市内に限らず、多くの小・中学校に科学館を学習の場として利用してもらうことを目指し、2009年度から新たに館内学習プログラムの開発を行っている。特徴は、10～30分程度の短時間で完結する指導案（モジュール）を基にして、科学館職員ではなく、日常的に指導を行い、児童生徒を理解している引率した先生方が授業を展開する点である。

モジュールは、先生方が子どもたちの実態に合わせて自由に選択し、構成することができる。また、実践に必要な教材や器具は科学館で準備するため、指導にあたる先生方の準備に係る負担は少ない点が特徴である。下見の際に先生方と館のモジュール学習担当が打ち合わせを行い、指導法や注意点を確認した上でモジュール学習を行うこととなっている。

今年度の利用状況は次の通りである。また、現在まで開発を行ったモジュールの内容も示す。

地域・校種・学年	児童生徒数	内 容
市内小学校 3年生	25名	シャボン玉
市内特別支援学校	6名	シャボン玉
県内小学校 1・2年生	31名	シャボン玉
県内小学校 2年生	131名	シャボン玉
県内小学校 3・4年生	20名	低温の科学
市内小学校 2年生	140名	シャボン玉
市内小学校 2年生	90名	シャボン玉
市内小学校 2年生	39名	シャボン玉
市内小学校 3年生	84名	シャボン玉
市内小学校 3年生	34名	シャボン玉
モジュール学習計	600名	



シャボン玉



低温の科学